

中学生の英語力向上に向けた取組

～ 英語音声CD “I CAN DO IT!” の活用推進 ～

義務教育課

平成24年度の県学力調査の質問紙調査結果では、英語の学習が「好き」、「分かる」と回答した生徒の割合（中1～中3の平均）が、前年度に比べていずれも向上しています。これは、小学校外国語活動の円滑な実施、中学校での授業時数の増加を生かした授業改善の取組、さらには、本CDの活用推進の成果の表れであると考えています。

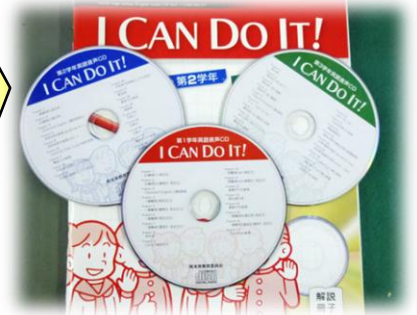
英語によるコミュニケーション能力の向上は、生徒の将来の可能性を大きく広げます。県教育委員会では、本教材の活用を一層推進し、さらに、英語が「好き」、「分かる」生徒の育成を目指します。

英語音声CD “I CAN DO IT!” の更なる活用へ

このCDは、生徒が学校や家庭で何度も繰り返し、英語を聞いたり言ったりすることで、授業で学習する基礎的・基本的な内容を中心に、聞く力や話す力を身に付けるという目的で開発したものです。

特に、中学生が英語に興味をもちながら学習に取り組むことができるよう、本県の歴史や文化などに関する話題や表現を盛り込んでいます。

御家庭でも、学校でも、さまざまな場面で活用方法の工夫をお願いします。



【英語音声CDとテキスト】

生徒・保護者の皆様へ

「くまモン英語チャレンジ」に挑戦しよう！

熊本県教育委員会

「くまモン英語チャレンジ」は、本年度、熊本県の中学生に配布した英語音声CD “I CAN DO IT!” に關するチャレンジ問題です。
中学生のみならず、ぜひ挑戦してみましょう。

○実施期日：原則として平成25年2月4日（月）～2月22日（金）を予定していますが、各学校で実施日が決められます。

○出題範囲：各学年、“I CAN DO IT!”の次のProgram（プログラム）から出題します。

- ・中1：Program 1～14, 17
- ・中2：Program 1～9, 11～13
- ・中3：Program 1～13, 16～18

○実施時間：20分程度の問題です。

○表彰：挑戦した人全員に賞状を授与します。
例）Gold Kumamon賞 など

★各中学校に実施費を配付していますので、詳しいことは、直接各学校にお尋ねください。

○例えばどんな問題が出るの？

★1年（聞き取り問題の例）

○ 対話と内容を聞き、最も適切な答えを1, 2, 3の中から一つ選びなさい。
【対話原稿】

Kumi : Mr. White, who's that boy?
Mr. White : He's Mike. He's a new student.
 He's from Canada.
Kumi : Does he speak Japanese?
Mr. White : ()
I Yes, a little. 2 Yes, I do. 3 Yes, he speaks English.

1年は、“I CAN DO IT!”のProgram 7の対話文から、2年は、Program 9のキーセンテンスから、3年は、Program 5「Classroom Englishと慣用表現」からの出題例です。

★2年（連語を選ぶ問題の例）

○ () に最も適切な英単語を1, 2, 3, 4の中から一つ選びなさい。
We went there () Kikuchi Castle.
1 see 2 saw 3 to see 4 seeing

★3年（語を並べかえる問題の例）

○ 日本語の意味を英単語と対して、最も適切な英単語を1, 2, 3, 4の中から一つ選びなさい。
あなたにまた会えたいのを楽しみにしています。
(① seems ② forward ③ looks ④ to ⑤ you)
I'm () () () () again.

Let's try "Kumamon Eigo Challenge!"

CDの活用推進に向けた今後の取組

- ◆ 「くまモン英語チャレンジ」の実施（CDの内容に関するテスト）
※ 左の資料参照
- ◆ 「“I CAN DO IT!”活用推進ミーティング」（実践発表会）の開催
- ◆ CDの内容を映像化したDVDの作成
- ◆ CD活用実践事例集の作成、配付

←【生徒・保護者向け啓発チラシ】

《鞠智城を取り上げた例文》

（※2年生の内容から）

We went to Yamaga to see Kikuchi Castle.
私たちは鞠智城を見に、山鹿に行きました。



【鞠智城】